

8/31 五福

「戦争法案、絶対廃案！」安倍政権はただちに退陣！」。地鳴りのようなコールが何度も繰り返され、色鮮やかなプラカードが揺れます。国会議事堂の正門前は、身動きできぬほどの人波で埋まり、雨天を吹き飛ばす勢いの熱気で満ちあふれました。国会周辺で12万人が参加、全国1000力所以上で繰り広げられた「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人・全国100万人大行動」。

戦後史に刻まれる、文字通り空前の規模となりました。日本列島に響きわたる「戦争法案廃案」の声を聞き、安倍晋三首相は戦争法案強行をきっぱり断念すべきです。

主張

戦争反対、9条守れ

人たちが続々と駆けつけ、行動開始前には車道も参加者で埋まりました。「未来へ平和のバトンをつたえよう」と書かれたTシャツを着た女性、「だれの子どももころさせない」と訴えるプラカード。父親に手を引かれた男の子が「戦争行きたくない」のプラカードを持

すすむほど、自衛隊をアメリカの戦争に参戦させる法案の危険性が鮮明になり、「国民の命を守る」という安倍首相の口実がまったく成り立たないことがいよいよ浮き彫りになってきています。国会論戦で、安倍首相や閣僚は、法案についてきちんと答弁できず、法案を

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけた30日の行動は、安倍政権の国民無視の暴走を絶対に許さない、全国規模での巨大な意思表示です。東京では、多くの参加者が国会を包囲しただけでなく、官庁街の霞が関や日比谷まであふれま

列島揺るがす、この声を聞け

した。全国的には大阪市の扇町公園2万5000人をはじめ大小あわせた多彩な

平和と憲法の危機に全国津々浦々で、世代を超えてこれほどの規模で立ち上がったことは、戦後70年、日本の民主主義が社会に深く根を張り成長していることの証明です。国民の声を無視して戦争法案をあくまで強行することは独裁政治にほかなりません。安倍政権をさらに追い込んだたかひを、大いに広げ、戦争法案を必ず廃案にしようではありませんか。

ちます。一人ひとりの思いが切々と伝わります。参加者の多くが共通して口にするのは「安倍首相のむちゃくちゃなやり方に黙ってはいられない」気持ちです。

安倍政権が戦争法案の衆院可決を数の力で強行し、参院で審議が始まって1カ月、審議がすすめば

審議する特別委員会での審議中断は77回を数える異常事態となっています。政府自体がまともに説明できないポロポロの法案は廃案にすべきなのに、安倍政権は、参院での早期採決、衆院での再議決まで狙う、国民世論に完全に逆行する姿勢をあらわにしています。

行動が1000力所を超えました。全国いっせいに「強行採決絶対反対！」などのコールが続いた光景は、まさに圧巻です。国会前で、日本共産党の志位和夫委員長が「ここが正念場です。絶対に止めようではありませんか」と力強く呼びかけ、民主、社

「黙ってははいられない」

国会前は何時間も前から多くの